有峰森林文化村「森の案内人」第1号

報告者：霜鳥　智也
編集者：田島　敏美

昨年2020年より「森の案内人」と一緒に森を歩こうのキャッチフレーズで、森の案内人（指導員）による森の案内を実施しています。

7月27日（火）前日より有峰ハウスに宿泊された名古屋市在住のご夫妻の要望により、今年第1号の森の案内を実施しました。今日の森の案内人は霜鳥で、猪根山遊歩道をご案内しました。猪根山（いのねやま）遊歩道は、距離約2㎞、所要時間約100分、森の女王ブナの林を楽しむやや急な道の遊歩道です。猪根山遊歩道の出発地点ビジターセンターの標高は1133m、遊歩道での最高地点は1338mで約200mの標高差があります。

9時30分ビジターセンターを出発、有峰ハウス側からアプローチしました。この遊歩道には樹木プレートがいくつか設置されています。樹木プレートを活用しながら、猪根山に生育するブナ、ミズナラ、トチノキ、ホオノキ、ウダイカンバ、ヤマハンノキ、ナナカマド、リョウブなどの樹木の特徴や名前の由来などを解説しました。時に、ツキノワグマのフィールドサイン・タテヤマスギやカラマツの樹皮はぎの観察を行ったり、ブナの幹に付いているエゾハルゼミの蛹の脱殻やヤマキマダラヒカゲなどの昆虫の説明を交えながら、ゆっくりと遊歩道を散策戴きました。オオバクロモジについては、緑色の枝に入る黒い模様が文字のように見えるのが和名の由来であること、さわやかな香りで高級つまようじやアロマオイルの材料として利用されている特徴もあり、触る、匂いを嗅ぐなど五感で楽しんでもらいました。更新した猪根山遊歩道マップを活用しての初めての猪根山遊歩道の案内第一号となりました。